

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-86	中学校	国語科	国語	3
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 903	伝え合う言葉 中学国語3		

1. 編修の基本方針

本教科書は、「教育基本法」に示された教育の目標と「学習指導要領」に示された教科目標を達成するため、それらの基盤となる「言葉の力」を国語科において育てることを目指し、以下のような方針に基づいて編修しています。

(1) 「言葉」を見つめ、「言葉」と関わる力を育てます。

さまざまな話題・題材を取り上げた文章や教材にふれることにより、論理的な思考、感性、情緒、コミュニケーションの基礎となる「言葉」そのものに立ち止まり、言葉を意識的・自覚的に用いることのできる力を育てます。

■情報を捉え、論理的思考力を高める。

「学びナビ」……「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「メディアと表現」教材に設定。

「メディアと表現」

P.60 『メディア・リテラシーはなぜ必要か？』

P.64 『新聞が伝える情報を考える』

P.108 『ニュースで情報を編集する』

学びナビ エニアは哲学でできるか
批判的に読みながら主張に迫る

読みの扉を開く

説明的な文章を読む際には、筆者の考えや主張の的確に捉えるだけではなく、筆者の主張や根拠、内容の信頼性や客観性について吟味しながら読むことが大切です。さらに、文章に表れている筆者のものの見方や考え方について、自分の体験や読書経験などと照らし合わせながら批判的に読むことで、筆者の主張に迫り、自分なりの考えを形成していくことが大切です。

◀P.74 『読むこと』『A I は哲学できるか』『学びナビ』

▼P.64 『新聞が伝える情報を考える』

メディアと表現
新聞が伝える情報を考える

学びナビ 紙面の特性と情報の構成

新聞は、社会に起こったさまざまなことを記事にして報道するものです。記事は「見出し」や「リード文」、「本文」からなる文章が主ですが、内容の理解や現場の様子を伝えるために写真などもあわせて用いられます。

ここが大事 新聞社は、記事の重要性を判断し、紙面の構成を考えます。同じきことでも、新聞社がもつ主張や判断の違いに応じて、見出しの大きさや記事の内容、分量、載せる位置などが変わります。

新聞はこの報道の仕方や記事の内容の違いについて考えてみましょう。

■価値ある教材、話題にふれ、国語科としての感性や情緒を高める。

- 文学的文章 P.18 『立ってくる春』 P.22 『なぜ物語が必要なのか』
P.32 『私』 P.180 『故郷』 P.14 『春に』 P.266 『やわらかな想い』
P.296 『素顔同盟』 P.300 『語り継ぐもの』 ほか
- 説明的文章 P.76 『A I は哲学できるか』
P.92 『async——同期しないこと』 P.96 『問いかける言葉』
P.304 『言葉の力』 ほか
- 和歌・短歌・俳句 P.72・P.88・P.114・P.242 『四季のたより』
P.166 『俳句の味わい』 p.262 『青春の歌』

俳句の味わい

「日本」

俳句は、自然の現象や人間の生活の瞬間を、五七五の音律で凝縮して表現する。その簡潔な言葉の中に、深い情感や想像力が込められている。この教材では、俳句の歴史や特徴を学び、実際に俳句を創作する体験を通じて、言葉の奥深い味わいや表現の豊かさを体感する。

▲P.166 『俳句の味わい』

【対話、交流をととしてコミュニケーションの力を高める。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材

P.230 『「対話力」とは何か』

「言葉と社会」

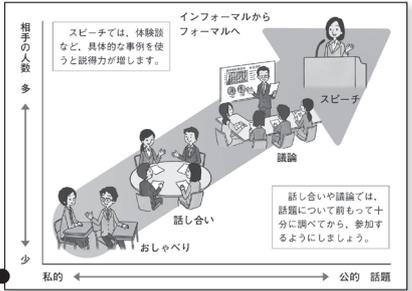
P.200 『コミュニケーションの場を考える』

P.236 『自分の意見を述べるとき』

■意見の対立を調整・調和するための方法
立場によって、意見が対立するときは、どのように解決すればよいでしょうか。例をあげます。
【部分合意をする】……全体的には対立していても、共通の利益がある事項を探し、その部分については、まず合意しておく対話の方法。
【留保条件を活用する】……利害が対立して、全体的な合意はできないが、ある条件をつければ互いに同意を得ることができ対話の方法。
■段階的な解決法……今すぐには解決できないが、

▲P.233 「話すこと・聞くこと」『「対話力」とは何か』

▼P.200 『コミュニケーションの場を考える』



【語句、語彙を豊かにし、理解や表現に結びつける。

「この教材で学ぶ言葉」

……「読むこと」教材「みちしるべ」に設定。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材の表現のまとめ

……各教材に設定。

折込④ 『理解に役立つ言葉』

折込⑥ 『表現に役立つ言葉』

この教材で学ぶ言葉
181 意郷郷
181 意帰郷
181 意心境
180 意活気
185 意口実
186 意あてがう
184 意猖狂
183 意はしやぐ

▲P.196 『故郷』

参考
伝えたいことを整理して書く表現
このことから、……には……という特徴がある。
これは……の場合もあてはまる。

▼P.83 「書くこと」『具体例をもとに説明文を書く』

表現に役立つ言葉

意見を述べる活動 ▼ P.57

- ……という観点から考えよう
- ……という視点から考えよう

▲巻末折込⑥ 『表現に役立つ言葉』

(2) 「日本と世界の課題」に向き合い、「未来を切り開き、創造する」学びを育てます。

持続可能な開発目標 (SDGs) を踏まえ、社会や世界が直面している課題や社会の多様性にふれ、言葉や表現をととして未来の社会や世界を切り開き、創造していく力を育てます。

P.220 『持続可能な未来を創るために——人間の生命・存在を考える』

P.235 『意見を共有しながら話し合う』

P.76 『AIは哲学できるか』

生命とは何か
私たちが生物学者は「生命とは何か」という問題を解明するために、生命現象をできるだけ細かく調べてきた。全ての生物は細胞からできている。細胞は、さらに細かい小器官から成り立っている。小器官は、より小さな粒子、つまり、タンパク質という微小な物質から成り立っている。だから言ってみれば、生物はさまざまな物質からなる精密な機械とみせる。そのように考えて、私たちは生命を分けることに進んできた。その結果、生物学者は、生物を構成するは全てのタンパク質を明らかにすることに成功した。

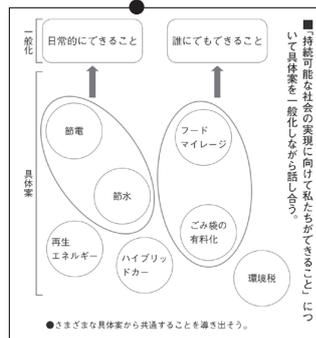


▼P.222 『持続可能な未来を創るために——人間の生命・存在を考える』

▼P.220

AIは哲学できるか
基礎 正博

▲P.76 『AIは哲学できるか』



▲P.235 「話すこと・聞くこと」『意見を共有しながら話し合う』

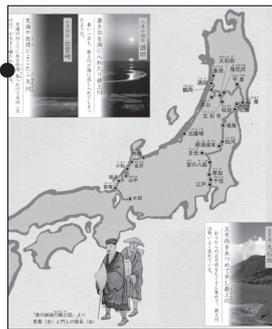
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
持続可能な未来を創るために
人間の生命・存在を考える

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)

(3) 「日本と郷土の伝統的言語文化」を継承・創造します。

わが国の伝統的な言語文化や郷土の言語文化などを理解し、次の時代や世代に継承し、新たな価値を創造する力を育てます。

- P.116 『旅への思い——芭蕉と『おくのほそ道』——』
- P.126 『和歌の調べ——万葉集・古今和歌集・新古今和歌集——』
- P.134 『風景と心情——漢詩を味わう——』
- P.140 『最後の一句』
- P.310 『古典文学の名作』
- P.314 『伝統芸能へのいざない 狂言』



◀P.118～119 『旅への思い——芭蕉と『おくのほそ道』——』

▼P.314 『伝統芸能へのいざない 狂言』



2. 対照表

図書の内容・構成と教育基本法第2条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

- 〈第一号〉 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第二号〉 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第三号〉 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第四号〉 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第五号〉 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

種別	領域等	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
知識及び技能	言葉	和語・漢語・外来語 相手に対する配慮と表現 慣用語・ことわざ	●日本語に関する基本的な知識と教養をとおして、日常用いる言語を客観的に分析し、社会性や法則性に自ら気づくことができるように配慮しました。〈第1号〉 ●(和語・漢語・外来語)日本語に含まれる多様で国際的な要素を学ぶことをとおして、わが国と郷土を愛する態度を養うとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。〈第5号〉	P.86 P.270～272 P.107 P.273～275 P.162 P.276～278
	文法	助詞のはたらき 助動詞のはたらき 文法的に考える	●(相手に対する配慮と表現)「敬語」を理解することで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国の郷土を愛する態度を養えるように配慮しました。〈第5号〉 ●社会のグローバル化を見据え、日本語と世界の言語を比較するなどして言語の知識を身に付け、世界に通用する人材を育成できるよう配慮しました。〈第5号〉	P.70 P.282～286 P.106 P.287～291 P.292～294
	言語文化	旅への思い 和歌の調べ 風景と心情	●わが国の伝統や文化、及び中国の文化について理解を深めたり幅広い教養を身につけたりできるように教材を選定するとともに、図や写真を掲載するなどしてさまざまな工夫を施しました。〈第5号〉	P.116～125 P.126～133 P.134～139
	読書	薔薇のボタン 最後の一句	●被爆者の衣服の写真という観点から戦時中の文化的な状況や気配を伝える優れた文章を読むことで、豊かな情操と道徳心を培い、伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第1号〉〈第5号〉 ●「願い書」をしたための「いち」の行動を読み、自主及び自律の精神を養い、近代以降、日本を代表する作家の名作を読むことによって、わが国の伝統文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。〈第2号〉〈第5号〉	P.48～56 P.140～159
思考力、判断力、表現力等	聞くこと・話すこと	構成を考えて主張をまとめる	●優先席の必要性についてスピーチする活動をおとして、社会生活の課題を考え、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第3号〉	P.57～59
		「対話力」とは何か	●国際的な問題に対して話し合うことをとおして、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。〈第5号〉	P.230～233

思考力、判断力、表現力等	聞く・話す	意見を共有しながら話し合う	●持続可能な社会に向けて話し合う活動をとおして、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第4号〉	P.235～237
		コミュニケーションの場を考える 自分の意見を述べる時	●(言葉と社会) 場に応じた表現や話題を選択する能力を身につけ、また、裁判員制度など社会生活の場面で必要な言葉について考えを深めることで、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画できるように配慮しました。〈第3号〉	P.200 P.234
	書く	具体例をもとに説明文を書く	●読み手を説得するために、具体的な事例を考える活動をとおして、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばせるように工夫しました。〈第2号〉	P.81～83
		自己PR文を書く	●書き上げたPR文を読み合い、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を知ること、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培えるように配慮しました。〈第2号〉	P.197～199
		情報をまとめて作品集を作る	●自分の成長を振り返ることをとおして、自己の尊厳と価値について考え、その能力を伸ばそうとする態度を養い、自主及び自律の精神を養うことができるよう配慮しました。〈第2号〉	P.239～241
	読む	立ってくる春	●季節と言葉、生活を描いた作品を読むことをとおして、豊かな四季の恵みのあるわが国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮しました。〈第5号〉	P.16～21
		なぜ物語が必要なのか	●物語を生み出し、人生をより豊かなものにしよとしてきた人間の生きざまを見つめることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養い、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第3号〉〈第5号〉	P.22～28
		私	●「私」とは何かという問いを考えることをとおして、真理を求める態度を養うことができるよう配慮しました。〈第1号〉	P.30～44
		故郷 バースデイ・ガール	●生きることの意味とは何かという普遍的な問いをもち、考える作品を読むことをとおして、正義と責任、自他の敬愛と協力、主体的に社会に参画する態度などを養うことができるよう配慮しました。〈第3号〉	P.178～196 P.244～261
		青春の歌	●生徒にとって身近で等身大の人間の心情をうたった短歌を読むことをとおして、幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操を培い、わが国の伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。〈第1号〉〈第5号〉	P.262～265
		俳句の味わい	●優れた表現の近代の俳句を読むことをとおして、豊かな情操を培い、わが国の伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。〈第1号〉〈第5号〉	P.166～173
		初恋	●著名で優れた近代の詩を読むことをとおして、幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操を培い、わが国の伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。〈第1号〉〈第5号〉	P.174～177
やわらかな想い		●人々のかけがえない想いが語られた詩を読むことをとおして、豊かな情操と道徳心を培えるように配慮しました。〈第1号〉	P.266～267	
Allは哲学できるか		●人工知能と哲学の関係について書かれた文章を批判的に読むことで、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求め、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第1号〉〈第3号〉	P.74～79	
async——同期しないこと		●音楽家のもの見方や考え方をとおして、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養えるように配慮しました。〈第2号〉	P.90～95	
問いかける言葉		●「問い」を投げかけ、対話を行うことの重要性について書かれた文章を読むことをとおして、真理を求め、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるように配慮しました。〈第1号〉〈第2号〉	P.96～102	
実用文を読む	●社会生活における実用的な文章を読むことをとおして、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。〈第3号〉	P.111		
総合	持続可能な未来を創るために——人間の生命・存在を考える	●持続可能な社会の実現という観点から自己の学びを振り返り、次の学びにつなげることで、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第3号〉 ●多様性が地球環境の持続可能性に寄与することを理解することで、真理を求め、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第1号〉〈第4号〉	P.220～229	
メディア	メディア・リテラシーはなぜ必要か？	●メディア・リテラシーを身につけ、情報を批判的に読み解く能力を育てることで、真理を求め、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第1号〉〈第3号〉	P.60～63	
	新聞が伝える情報を考える ニュースで情報を編集する	●新聞やニュースで報道されている内容は第三者によって再構成された事実であることを学ぶことをとおして、真理を求める態度を養うことができるよう配慮しました。〈第1号〉	P.64～67 P.108～110	
付録	言葉でつかんだ世界一	●試練を乗り越えて生きる筆者の文章を読むことで、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を育むことができるよう配慮しました。〈第3号〉	P.308～309	
	理解に役立つ言葉 表現に役立つ言葉	●日常用いる言語について実践的な知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養えるように配慮しました。〈第1号〉	巻末折込④～⑤ 巻末折込⑥～⑦	

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-86	中学校	国語科	国語	3
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 903	伝え合う言葉 中学国語3		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本教科書は、国語科における「言葉による見方・考え方」をはたらかせるための魅力ある「言語活動」を位置づけた「主体的・対話的で深い学び」を設定し、社会生活に生きてはたらく「資質・能力」を育むことを目指し、以下のような編修上の工夫をはかっています。

「主体的、対話的で深い学び」を実現するための教科書構成の二大特徴 ①

1. 単元の構成と学びを進める七つのキーワードにより、多様な話題への取り組みをとおして言葉の力を高める

●本教科書では、国語科の課題、学習者を取り巻く課題を考えるためのキーワードを七つにまとめ、三年間でそれぞれの単元に設定しています。

- 表現／対話／思想
- 自然／環境／科学
- 人権／多様性／平和
- 伝統／文化／歴史
- 身体／生命／家族
- 近代化／国際社会／共生
- 自己／他者／物語

●これらのキーワードは、国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」と深く関係し、言葉によるものの見方や考え方を、多面的に捉え、学習者が未来の世界を変えるための知識と力を獲得することを願って立てられています。

単元のキーワードに即した多様な話題をとおして、生徒が自ら問いを立て、その問いについて試行錯誤し、協力し合って主体的、対話的に課題を解決する力(自己学習力)を育てます。

●人権／多様性／平和

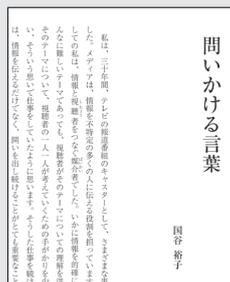


▲P.48

●表現／対話／思想

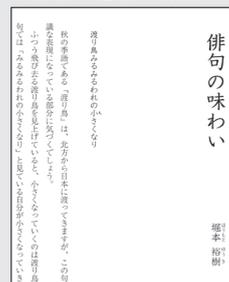


▲P.92



▲P.96

●自己／他者／物語



▲P.166



▲P.180

2. 学習内容を明確化する「学びナビ」と課題を追究する方法

- 「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「メディアと表現」の各教材について、「学びナビ」を設定しています。
- 「学びナビ」は、各教材の学習に入る前に読み、内容をより深く読んだり、学習内容を認識したりするための手だてを示し、学習へのかまえをもたせるページです。

「読むこと」：「何が書かれているか」だけでなく、「どのように書かれているか」にも着目して読めるような「読み方」を提示し、自ら読む力を養います。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」：表現をするときにはたらく思考との関係を提示し、論理的な思考力に基づく表現力を養います。

「メディアと表現」：写真や広告など、身のまわりにあるさまざまな媒体の特徴と言葉との関わりを提示し、言葉を活用する力を養います。

- 学習にあたって確実に身につけたい重点的な内容を「ここが大事」にまとめています。

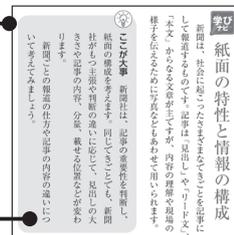
学びの基礎となる課題解決の手順や思考の方法について、可視化したり、取り立てたり、関連させたりしながら、自ら学びに向かう力を身につけます。



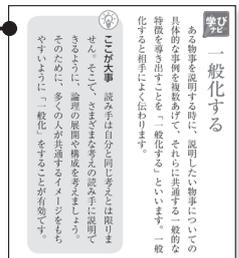
▲P.31 「読むこと」『私』「学びナビ」

記号
ある社会や文化の中で、なんらかの拘束力をもつ約束ごと。

象徴
抽象的な物事を、それを連想させる具体的な事物に代表させて表したるもの。



▲P.64 「メディアと表現」『新聞が伝える情報を考える』



▲P.81 「書くこと」『具体例をもとに説明文を書く』

新たな学びの課題に対応し、「資質・能力」育成の具現化を旨とした内容の工夫

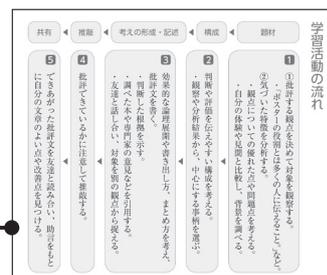
学習を見通し振り返る能力と、学習の過程に即して課題解決へ向かう能力を育成する。

- 言語活動をとおして確かな学力を身につけるため、学習指導要領に示された「学習過程」の習得を踏まえ、言語活動の展開を明確にしています。

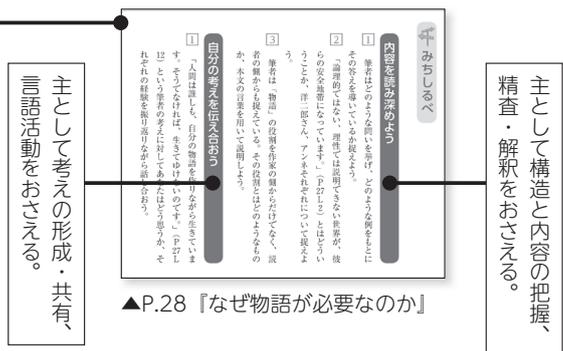
「話すこと・聞くこと」「書くこと」：活動の過程を明確に示し、その教材での重点を示しています。

「読むこと」：学習の手引き「みちしるべ」において、学習過程に即して段階を整理しています。

- 「目標」「振り返り」：課題意識を高め、学習内容を見通したうえで目標を達成したか、学習者自らが学習の方法や内容を振り返り、学びを自覚化できるように工夫しています。



▲P.104 「書くこと」『説得力のある批評文を書く』



▲P.28 『なぜ物語が必要なのか』

主として考えの形成・共有言語活動をおさえる。

主として構造と内容の把握、精査・解釈をおさえる。

思考と語彙の連携により、情報を適切に扱う能力を育成する

- 各領域の教材で、**学習に関わる語彙や表現をまとめ**、教材の中の多様な情報（内容）のつながりを把握し、**活用する力**を育成できるようにしています。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」：言葉のまとめ
「読むこと」：「この教材で学ぶ言葉」



▲P.102 『async —同期しないこと』

▲P.59 『話すこと・聞くこと』
『構成を考えて主張をまとめる』

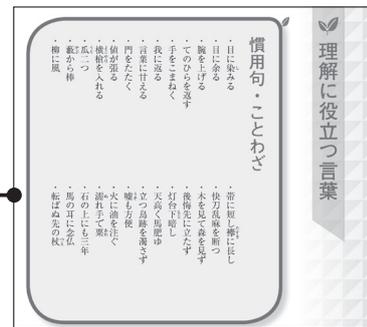
- 各領域の「学びナビ」では、理解したり表現したりする活動を支える**思考の言葉や学習用語**を取り立てて示し、**学習を意識化**できるようにしています。(P.6 『言葉の地図』で、その全体を見通すことができます。)



▲P.9 『言葉の地図』

- 巻末折込では、その学年や中学校でおさえておきたい**語彙や表現の観点や例**を示し、教材とつなげながら語彙や表現を豊かにできるようにしています。

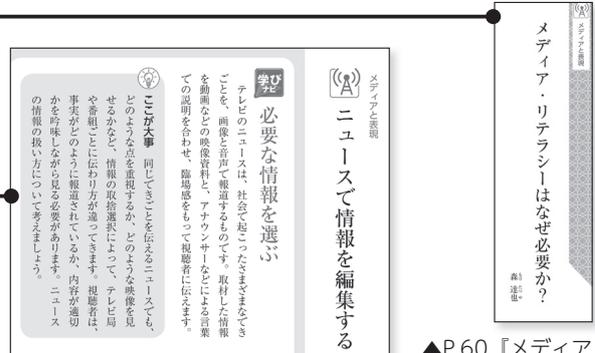
折込④ 『理解に役立つ言葉』
折込⑥ 『表現に役立つ言葉』



▲巻末折込④ 『理解に役立つ言葉』

- 「メディアと表現」：身近なメディアにおける表現について、言語との関わりをとおして理解と活用を促します。

P.60 『メディア・リテラシーはなぜ必要か？』
P.64 『新聞が伝える情報を考える』
P.108 『ニュースで情報を編集する』



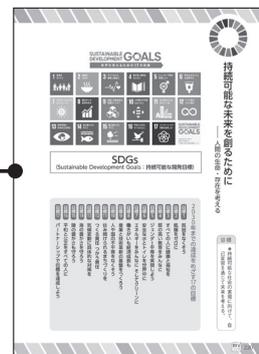
▲P.108 『ニュースで情報を編集する』

▲P.60 『メディア・リテラシーはなぜ必要か？』

自ら問いを発見し、問いに向き合い、解決を目指すことにより、言葉をとおして社会との関わりを考える

- 現代社会、国際社会におけるさまざまな課題について、言葉との関わりを踏まえながら、**主体的に身のまわりの話題や事象をもとに考えていく教材**を設けました。

P.220 『持続可能な未来を創るために——人間の生命・存在を考える』



▲P.220 『持続可能な未来を創るために——人間の生命・存在を考える』

- 身につけておくべき**コミュニケーション能力**をもとに、**日常生活から社会生活へと意識を高める教材**を設けました。

P.200 『言葉と社会 1 コミュニケーションの場を考える』

P.234 『言葉と社会 2 自分の意見を述べるとき』

▼P.234 『自分の意見を述べるとき』



言語文化を継承し、担い手となる自覚を促す

- 古典教材では、**作品の特徴や特質**を踏まえ、内容の理解を深めるための「みちしるべ」を設定しました。

「内容を捉えよう」→主として知識及び技能、構造と内容の把握をおさえる。

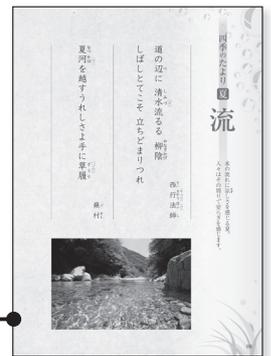
「読み深めよう」→主として精査・解釈、言語活動をおさえる。

- 日常生活の中でも**言語文化を意識づけられるよう**、教材の内容や配置を工夫しました。

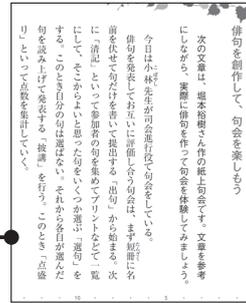
『四季のたより』 P.72 『春 風』 P.88 『夏 流』
P.114 『秋 音』 P.242 『冬 空』
P.310 『古典文学の名作』

- 言語文化を享受するのみに終わらず、**自ら次の世代に伝えていく**ために、活動的な教材を設けています。

P.166 『俳句の味わい』



▲P.88 『四季のたより 夏流』



▲P.172 『俳句の味わい』

豊かな読書生活の実現により、言葉の力を高める

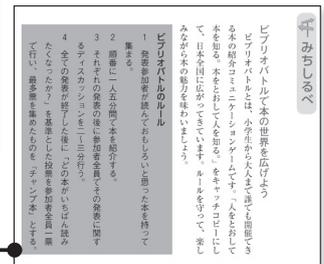
- 各単元のキーワードと関わる図書を紹介した『**広がる本の世界**』を設け、**多種多様な本を紹介し**、読書へ誘う工夫をしています。



▲P.45 『広がる本の世界1』

- 図書館の活用など、**読書に関する知識、情報、活動も充実**させています。

P.48 『薔薇のボタン』



▲P.54 『薔薇のボタン』「みちしるべ」

自ら学び、他教科や日常生活での基礎となる

- 言葉のはたらきを学ぶことで、**全ての教科の基礎となるよう**、**言葉の知識や技能、他教科の学習との関わり**などを示しました。

「学びナビ」や「**教材で学ぶ言葉**」などで、学習や思考に関わる用語や表現を取り立てた教材化をはかっています。

「**学びを生かそう**」→「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材に設けています。

- 自分の力でさまざまな文章や資料を読み、表現する教材『**学びのチャレンジ**』を設けました。

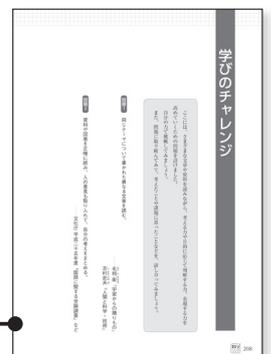
98 考
吟
味

▲P.102 『問いかける言葉』「みちしるべ」

考えるときの観点として生かす言葉や表現。

● 学びを生かそう 社会に出て、自分自身を表現するときに役立てよう。

◀P.241 『書くこと』『情報をまとめて作品集を作る』ほか



▲P.208 『学びのチャレンジ』

さらなる学びの拡充のために

- 当社ウェブサイトをとおして教材に関わる資料などを見ることが出来る「**まなびリンク**」を設けました。
- **学びを広げるための資料、自分の力で取り組むための資料**などを用意しています。



編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-86	中学校	国語科	国語	3
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 903	伝え合う言葉 中学国語3		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
312・ 313	古典文法活用表	2	○内容の取り扱い 第3 3(2)ア 国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度 を育てるのに役立つこと。	2
合計				2

(「類型」欄の分類について)

- 1……学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2……学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容